



横浜さかえ内科通信

風しんとは？

風しんは、風しんウイルスによって、飛沫感染にておこる急性感染症です。風しんへの免疫がない集団において、1人の風しん患者から5〜7人にうつすと言われる強い感染力を有します。感染すると約2〜3週間後に発熱や発しん、リンパ節の腫れなどの症状が現れます。子供では比較的軽症ですが、まれに脳炎などの合併症が発生することがあります。大人では、重症化することが多いとされています。また、発しんの出る前後約1週間は人に感染させる可能性があります。通園・登校は、発しんが消えるまで、禁止です。

先天性風しん症候群

風しんに対する抗体価が不十分な妊娠20週頃までの女性が風しんに感染すると、眼や心臓、耳等に障害をもつ先天性風しん症候群の子供が出生することがあります（妊娠1ヶ月でかかった場合50%以上）。妊婦はワクチン接種が出来ないため、抗体価の低い妊婦は、不要な外出を避けてください。また、妊婦の周りの方は、予防に努めて下さい。

風しんが疑われたら

風しんを疑う症状が現れたら、事前に医療機関に電話連絡をした上で、指示に従って受診しましょう。

風しん予防について

風しんには特效薬がない

く、予防が大切です。予防には、予防接種が最も有効です。しかしながら昭和54年4月1日以前に生まれた男性は1回もその機会がありません。十分な免疫を持たない人が増えたことが、近年の風しん患者増加の原因と考えられています。

国が実施する風しんの追加的対策

昭和37年4月2日から昭和54年4月1日までの間に

生まれた男性が風しんに係る定期の予防接種の対象者として追加されました。まず、抗体検査を受け、風しんの抗体がない場合、無料で風しんの予防接種を受けることができます。平成31年4月以降、市町村からク

ーポン券が届きます。

横浜市風しん対策事業

横浜市では19歳以上の「妊娠を希望している女性」、「妊娠を希望している女性のパートナー」、「妊婦のパートナー」を対象に、風しんの予防接種（自己負担3300円）と抗体検査（無料）を実施しています。

当院では国・横浜市両方の風しん対策事業を行っております。制度が複雑となっておりますが、可能な限り両方の制度を丁寧にご説明いたします。

横浜さかえ内科

診療時間 月火水木金土日祝

9:00~13:00	●●●●	/	●	○	/
15:00~19:00	●●●●	/	●	/	/

受付開始・終了は15分前 ○土曜日は9:00~14:00

JR本郷台駅徒歩3分

栄区小宮ケ谷1丁目15-2 長嶋本郷台マンション2F

TEL.045-897-5515